

進路ニュース **みらい** 44号

広島市立広島特別支援学校 進路指導部 広報係

中学部3年保護者対象進路研修会について

11月29日（月）、高等部に進学を予定している中学部3年生の保護者を対象に、進路研修会を開催しました。本校高等部の進路指導の現状を理解し、今後の家庭での取組や生徒支援に資することを目的とし、高等部の山本隆之進路指導主事を講師に迎えて研修を行いました。7名の保護者の皆様に参加していただきました。

高等部の進路指導や進路学習の取組、卒業後の主な進路先（公認デイサービス、施設・作業所、一般企業）の状況と、それに向けて必要とされる力などについて、進路ガイダンスやパワーポイントの資料をもとに詳しく話を伺うことができました。

いよいよこれから中学部を卒業して高等部へ進学しようとしている子どもたちですが、もう少し先の将来、高等部卒業後の自立と社会参加を見据えながら、今できることにしっかりと取り組み、じっくり力をつけていく必要があることを改めて感じました。今後も保護者の皆様と連携しながら、子どもたちの未来に向けて支援していきたいと思えます。

高等部第1学年の取組

1年生での進路学習のテーマは「自分について知る」です。自分について知ることは将来の進路を決めていくうえでも大変重要なことと考えています。このテーマのもとで、2学期には2年生が校外で職場体験実習した話を聞いたり、実際に職場を見学に行ったりして、仕事についてより身近に感じる学習を設けたいと思えます。また、3学期には、5日間同じ仕事（活動）に取り組む校内実習や、3年生から進路決定の取組について話を聞く学習を予定しています。

以上のような学習を通して、得意なことや頑張っていること、学校生活の中で頑張っていかなければならないことなど自分自身について考え、卒業後の生活に目を向けていくことにつながればと思っています。



高等部第2学年 ～進路学習～

高等部第2学年では、「社会へチャレンジ」をテーマに進路学習に取り組んできました。現在、69名の生徒が職場体験実習を終えています。実習先での取組は勿論のこと、実習前には挨拶に行ったり目標をたてたりしてチャレンジ意欲を高め、実習後には礼状を書きながら実習先の方々に感謝し、振り返って自分の成果を確認するなど、取組は長期にわたりました。5月24日（月）の実習開始から7か月経ちましたが、実習後に見つけた「学校で自分がかんばろうと思うこと」を心がけて学校生活を送っています。実習後に友達の前で自分の実習の様子をビデオや写真で振り返るとき、得意そうになる皆の表情をみると自信をつけた証だと思えてうれしくなります。保護者の皆様の御協力に感謝いたします。

12月になって「卒業生から学ぶ」と「余暇活動について知る」に分かれて学習をしました。前者では、先輩が働いている様子をビデオ視聴して卒業後の生活の様子を聞きながら自分の進路について考え、さらに日々取り組むべきことを明確にすることができました。後者では、心身障害者福祉センターのインストラクターに御来校いただき軽スポーツを体験しながら余暇利用の1つを体感して楽しむことができました。両者とも学習したことを生活の中に生かして行ってほしいと思います。

11月中旬から第2学年保護者対象施設見学を実施して参りました。現地集合されることで通所の可能性を考えていただき、見学されることで情報を獲得していただきました。職場体験実習を終えての見学であるからこそ、生徒の適正が予測しやすかったのではないかと思います。

冬休みを利用して御家庭でも進路について話す機会をもっていただけると幸いです。



高等部第3学年 卒業後の進路に向けて

高等部第3学年も残すところあと4か月余りとなってきました。

今、生徒は卒業後の進路へ向けて、作業所や企業、デイサービスで実習を行っています。また、障害者職業能力開発校への受験に臨んだ生徒もいます。一人一人が自分の将来への道を求めて頑張っています。

まだまだ進路がはっきりせず、不安を感じている生徒も少なくないと思いますが、卒業後の生活をしっかりイメージしながら、残り少ない学校生活に課題意識をもって取り組み、学校から社会へのスムーズな移行ができるようサポートしていきたいと思っています。